

『統計学』研修会実施報告

- 日時 : 平成 29 年 6 月 3 日
対象者 : 卒後 4 年スタッフ 15 名、アドバイザー 3 名、病棟研究 9 名
参加者数 : 27 名
テーマ : 看護研究 2 回目 統計学
目的 : 看護研究の取り組み方法と実際を知り
看護の創造性を養うことができる

<講師の紹介>

畿央大学 健康科学部看護科学部看護医療学科

教授 福森貢先生

1983 年 近畿大学工学部数物科卒業

日本制御機器株式会社でハード・
ソフトウェアの設計・開発

1999 年 京都市立福知山市民病院附属

看護専門学校 非常勤講師

国立病院機構舞鶴医療センター附属

京都看護助産師専門学校 非常勤講師

2005 年 畿央大学 専門：プログラミング・統計学・情報学

当院では 2010 年より看護研究講師としてもご指導を頂いています。



<内容>

福森先生が独自に作成された統計処理ソフトを使用させて頂き、Excel の仮設検定による統計処理や、活用方法について分かりやすく講義をして頂きました。また例題を使用しながら実際に統計の方法について学ぶことができ、実りの多い研修となりました。

卒後研究グループは現在研究テーマに沿って文献検索を行っており、研究活動はこれを機にさらに活発になっていくことと思います。今回の研修を今後の研究活動に活かし頑張ってください。

みなさんお疲れ様でした。